

2017年3月期 第2四半期決算説明会



スズキ株式会社
2016.11.4

第2四半期実績

- **連結業績** … **減収増益、各利益過去最高※1**
 - ・売上高 1兆4,990億円、前年比▲ 3.6% } 5期振り減収
 - ・営業利益 1,155億円、前年比+14.3% } 5期連続増益
 - ・経常利益 1,218億円、前年比+ 8.7% }
 - ・四半期純利益※2 999億円、前年比+26.4% } 7期連続増益
- **四輪世界販売** … **1,404千台で過去最高※1**
 - ・日本、中国、インドネシア、パキスタンで減少したものの、インド、欧州等で増加
- **中間配当** … **前回予想から2円増配し17円配当**

通期業績予想

- **通期業績予想** … **各利益上方修正**
 - ・第2四半期実績、及び為替前提の変更・販売台数見直し等を反映
 - ・当期純利益※2は520億円上方修正（投資有価証券売却益を反映）
- **四輪世界販売** … **2,873千台、前回予想比▲83千台**
 - ・日本、中国、インドネシア等を下方修正
 - ・インドは前回予想の前期比7%増から9%増へ上方修正

減収増益・各利益過去最高

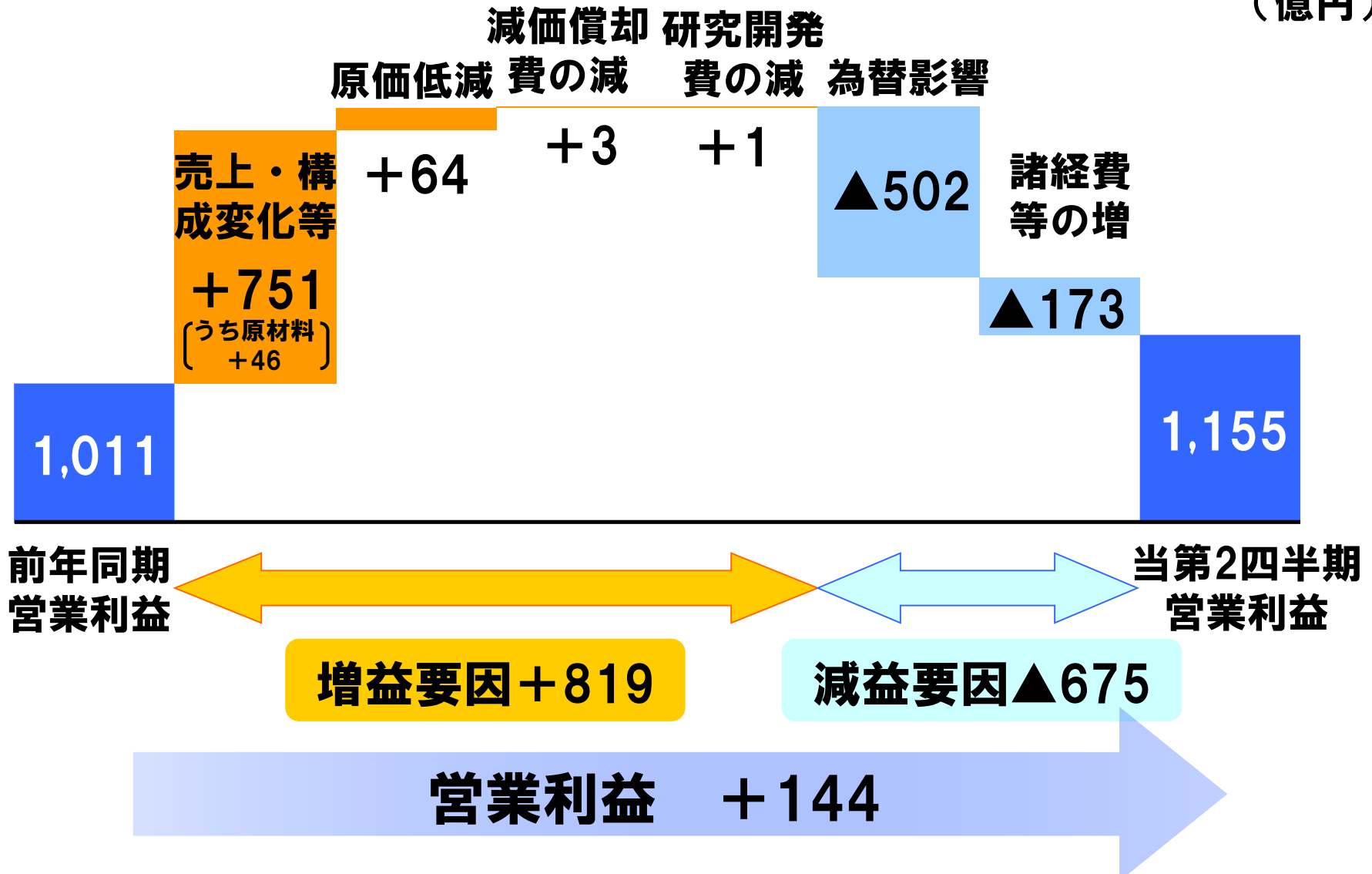
(億円)	当第2四半期 (’16/4-9)	前年同期 (’15/4-9)	増 減	
			増	減 増減率
売上高	14,990	15,555	▲565	▲3.6%
国内売上	4,966	5,000	▲34	▲0.7%
自 社	4,544	4,507	+37	+0.8%
O E M	422	493	▲71	▲14.5%
海外売上	10,024	10,555	▲531	▲5.0%
営業利益 (利益率)	1,155 (7.7%)	1,011 (6.5%)	+144	+14.3%
経常利益 (利益率)	1,218 (8.1%)	1,121 (7.2%)	+97	+8.7%
親会社株主に帰属 する四半期純利益 (利益率)	999 (6.7%)	791 (5.1%)	+208	+26.4%

(億円)

	四 輪			二 輪			特機等			合 計			内、為替 換算影響
	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	
国内計	4,784	4,809	▲25	103	108	▲5	79	83	▲4	4,966	5,000	▲34	
自 社	4,362	4,316	+46	103	108	▲5	79	83	▲4	4,544	4,507	+37	
OEM	422	493	▲71							422	493	▲71	
海外計	8,893	9,150	▲257	863	1,125	▲262	268	280	▲12	10,024	10,555	▲531	▲1,825
欧 州	1,776	1,659	+117	195	247	▲52	67	76	▲9	2,038	1,982	+56	▲349
北 米	12	24	▲12	102	186	▲84	134	139	▲5	248	349	▲101	▲41
アジア (内、インド)	6,034 (4,615)	6,374 (4,609)	▲340 (+6)	407	479	▲72	25	21	+4	6,466	6,874	▲408	▲1,250 (▲915)
その他	1,071	1,093	▲22	159	213	▲54	42	44	▲2	1,272	1,350	▲78	▲185
総合計	13,677	13,959	▲282	966	1,233	▲267	347	363	▲16	14,990	15,555	▲565	▲1,825
内、為替 換算影響			▲1,642			▲148			▲35				▲1,825

※当期・・・2016年4～9月期、前期・・・2015年4～9月期

(億円)



	当第2四半期 (’16/4-9)	前年同期 (’15/4-9)	増 減	営業利益 為替影響
米ドル	105円	122円	▲17円	▲39億円
ユーロ	118円	135円	▲17円	▲77億円
インドルピー	1.58円	1.91円	▲0.33円	▲212億円
インドネシアルピア (100ルピア当り)	0.80円	0.91円	▲0.11円	▲16億円
タイバーツ	3.00円	3.57円	▲0.57円	+28億円
その他	—	—	—	▲186億円
計				▲502億円

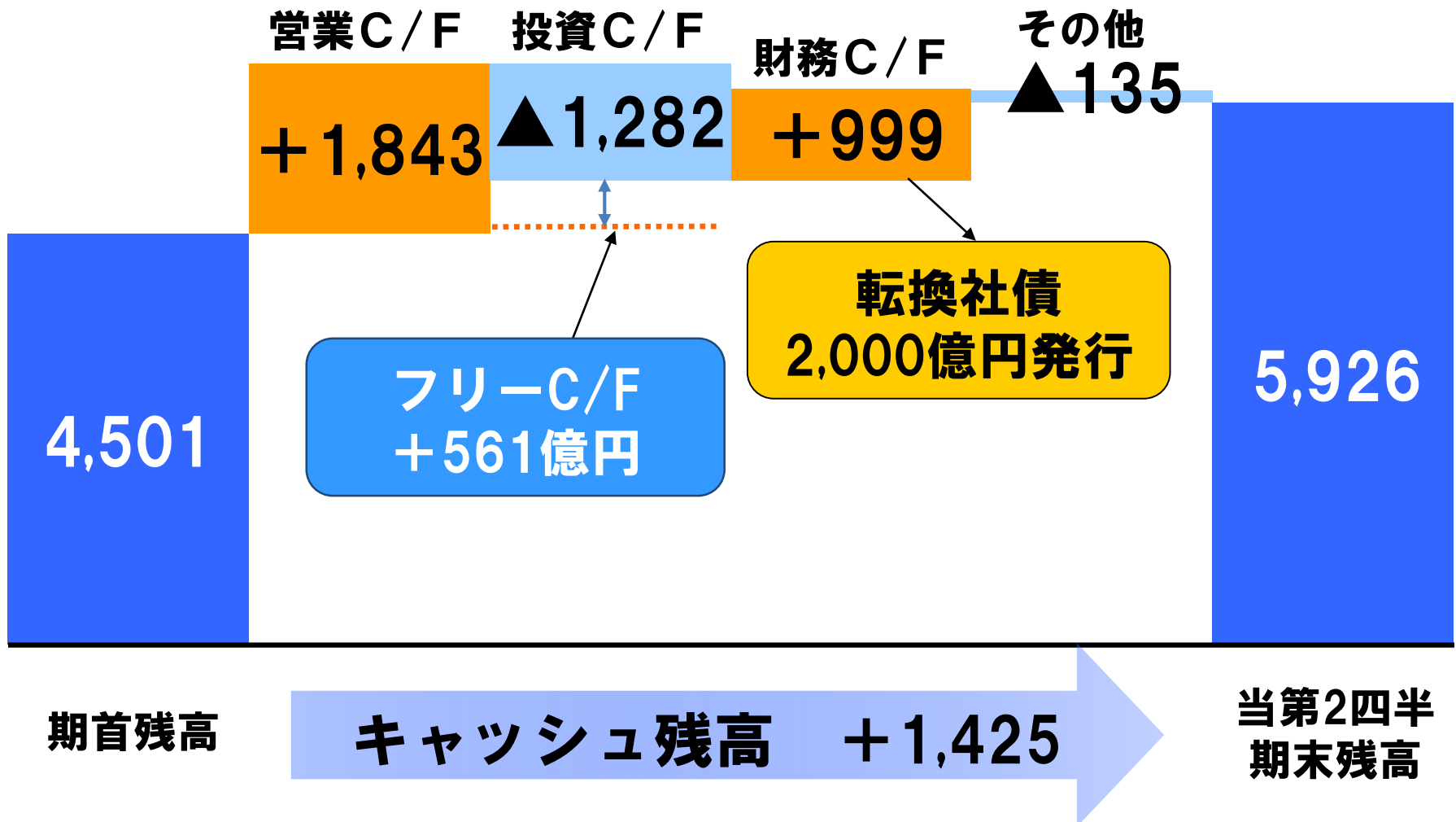
連結：設備投資、減価償却費、 研究開発費、及び有利子負債残高

(億円)

	当第2四半期 ('16/4-9)	前年同期 ('15/4-9)	増 減
(当社単独)	305	280	+25
(子会社)	646	469	+177
設備投資	951	749	+202
減価償却費	765	768	▲3
研究開発費	627	628	▲1

	当第2四半期末 ('16/9末)	前年同期末		前期末	
		('15/9末)	増 減	('16/3末)	増 減
有利子負債残高	6,398	4,208	+2,190	5,293	+1,105

(億円)



連結：事業別業績 (売上高・営業利益)

(億円)

売上高

前年同期

当第2四半期

営業利益

前年同期

当第2四半期

《四輪》

売上高

▲282 (▲2.0%)

13,959 13,677

営業利益

+148 (+15.7%)

945 1,093

前年同期 当第2四半期
'15/4-9 '16/4-9

《二輪》

売上高

▲267 (▲21.7%)

1,233 966

営業利益

+5 (赤字縮小)

▲12 ▲7

前年同期 当第2四半期
'15/4-9 '16/4-9

《特機等》

売上高

▲16 (▲4.4%)

363 347

営業利益

▲9 (▲12.0%)

78 69

前年同期 当第2四半期
'15/4-9 '16/4-9

連結：所在地別業績 (売上高・営業利益)

(億円)

売上高



《日本》

売上高

+129 (+1.5%)

8,663 8,792



三国間取引
を除く売上高

7,147 7,031

営業利益

▲38 (▲8.7%)

433 395

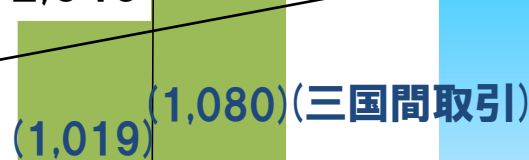
前年同期 当第2四半期
'15/4-9 '16/4-9

《欧州》

売上高

+142 (+5.3%)

2,646 2,788



営業利益

+48 (+201.9%)

24 72

前年同期 当第2四半期
'15/4-9 '16/4-9

《アジア》

売上高

▲404 (▲5.5%)

7,417 7,013



営業利益

+48 (+8.7%)

550 598

前年同期 当第2四半期
'15/4-9 '16/4-9

《その他》

売上高

▲130 (▲16.9%)

772 642

営業利益

+2 (+22.7%)

11 13

前年同期 当第2四半期
'15/4-9 '16/4-9

営業利益

前年同期

当第2四半期

	当第2四半期末	前年同期末		前期末	
	('16/9末)	('15/9末)	増減	('16/3末)	増減
連結 子会社数	136社	135社	+1社	136社	±0社
持分法適用 関連会社数	33社	35社	▲2社	33社	±0社
従業員数	62,932人	58,550人	+4,382人	61,601人	+1,331人

第2四半期実績、為替・販売台数見直し等も反映

(億円)	今回 通期予想	前期比較		前回予想比較	
		前期実績	増減	前回予想	増減
売上高	31,000	31,807	▲807	31,000	—
営業利益	2,000	1,953	+47	1,800	+200
経常利益	2,100	2,091	+9	1,850	+250
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,450	1,167	+283	930	+520
増減要因	売上・構成変化等	+1,077	+586	+547	+530
	原価低減	+240	+246	+290	▲50
	為替影響	▲860	▲29	▲620	▲240
	諸経費等の増	▲300	▲254	▲260	▲40
	研究開発費の増	▲90	▲51	▲90	—
	減価償却費の増	▲20	▲339	▲20	—
計	+47	+159	▲153	+200	
設備投資	2,200	1,715	+485	2,200	—
減価償却費	1,700	1,683	+17	1,700	—
研究開発費	1,400	1,310	+90	1,400	—

連結：通期業績予想 (為替レート前提)

下期予想レートを円高方向に見直し

	今回予想 (2016.4~2017.3)			為替影響	前期比較 (2015.4~2016.3)		前回予想比較 (2016.4~2017.3)	
	上期実績	下期予想	通期予想		通期実績	増減	通期予想	増減
米ドル	105円	103円	104円	▲87億円	120円	▲16円	105円	▲1円
ユーロ	118円	113円	116円	▲147億円	133円	▲17円	120円	▲4円
インド ルピー	1.58円	1.57円	1.58円	▲323億円	1.85円	▲0.27円	1.60円	▲0.02円
インドネシア ルピア※	0.80円	0.80円	0.80円	▲26億円	0.89円	▲0.09円	0.80円	-
タイ バーツ	3.00円	2.95円	2.98円	+52億円	3.44円	▲0.46円	3.00円	▲0.02円
その他通貨				▲329億円				
為替影響額 計				▲860億円				

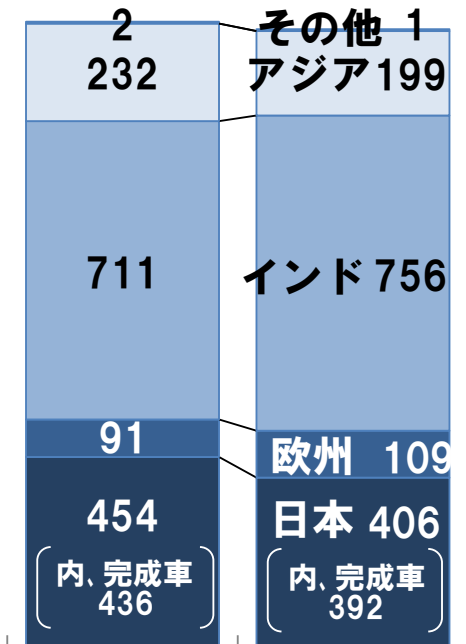
※インドネシアルピアは100ルピア当りのレート

世界生産は前年同期比▲1.3%

《4～9月比較》

▲19千台 (▲1.3%)

1,489 1,470



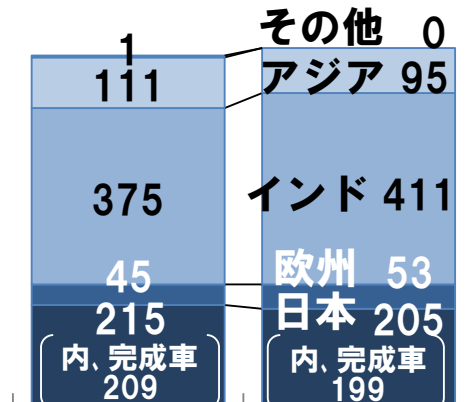
前年同期 '15/4-9 当第2四半期 '16/4-9

《内、7～9月比較》

+18千台 (+2.4%)

(千台)

747 765



前年同期 '15/7-9 当第2四半期 '16/7-9

●4～9月の生産状況

- ・インド、欧州で増加したが、日本、アジアでの減少により、全体では前年同期比▲1.3%

●相良工場を交替勤務化

- ・登録車の販売が好調な相良工場を本年6月より交替勤務化
- ・工場人員の適正な配置により生産効率を改善

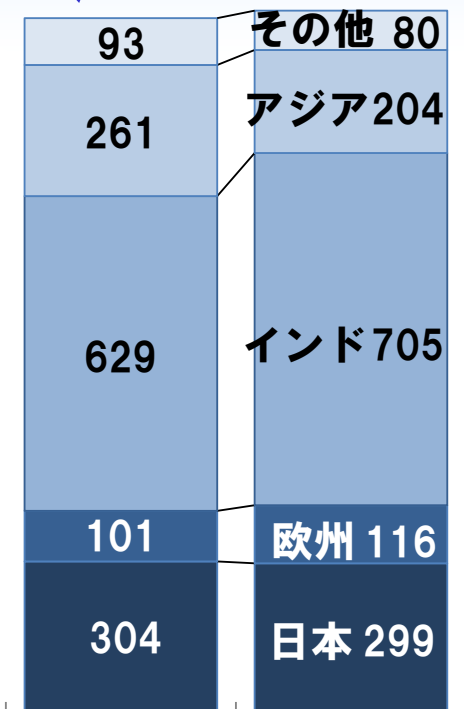
●湖西工場累計生産2千万台

- ・本年9月、1970年の生産開始から45年11ヵ月で達成
- ・世界のマザー工場としての役割を担う

4～9月の世界販売は過去最高を更新

《4～9月比較》
+16千台 (+1.1%)

1,389 1,404

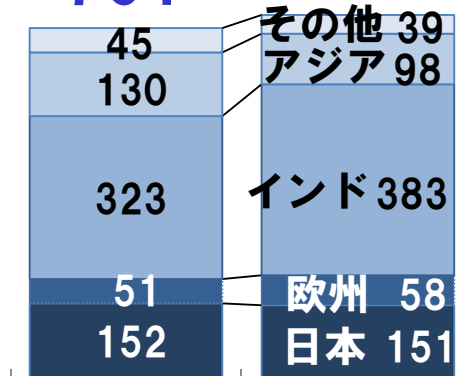


前年同期 '15/4-9 当第2四半期 '16/4-9

《内、7～9月比較》
+28千台 (+4.0%)

(千台)

701 729



前年同期 '15/7-9 当第2四半期 '16/7-9

●4～9月世界販売

- ・日本、中国、インドネシア、パキスタンで減少したが、インド、欧州等での増加により、前年同期比+1.1%

●4～9月欧州販売

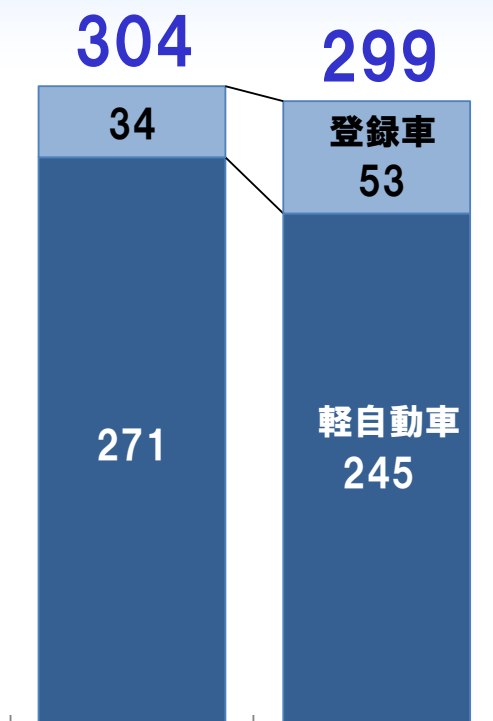
- ・「ビターラ」の販売貢献により前年同期比+15.3%



軽自動車の販売減により前年同期比▲1.9%

《4～9月比較》

▲6千台 (▲1.9%)



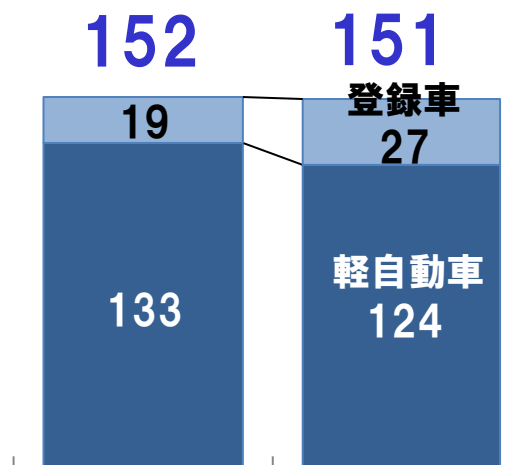
前年同期
'15/4-9

当第2四半期
'16/4-9

《内、7～9月比較》

▲1千台 (▲0.8%)

(千台)



前年同期
'15/7-9

当第2四半期
'16/7-9

●4～9月国内販売

- ・軽自動車は前年同期比▲9.3%
- ・登録車は昨年度投入の新型車の販売貢献により、前年同期比+57.7%と大幅増
- ・4～9月の「軽+登録車」では、前年同期比▲1.9%
- ・7～9月では登録車の販売増により前年同期並み

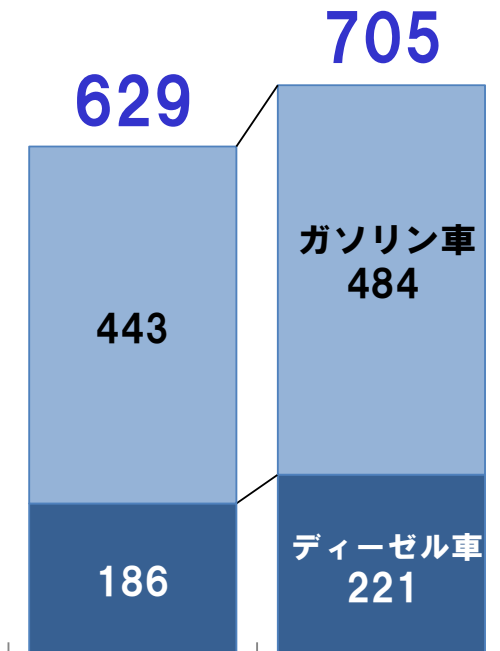


4～9月販売は過去最高を更新

《4～9月比較》
+76千台（+12.1%）

ディーゼル車割合

30% → 31%

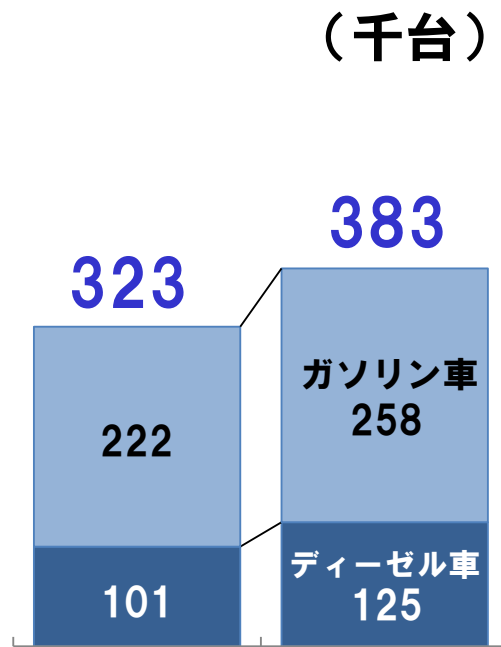


前年同期 '15/4-9
当第2四半期 '16/4-9

《内、7～9月比較》
+60千台（+18.5%）

ディーゼル車割合

31% → 33%



前年同期 '15/7-9
当第2四半期 '16/7-9

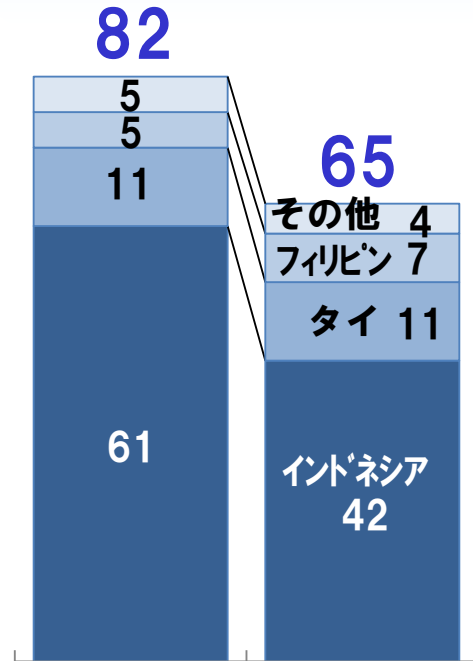
●4～9月インド販売

- ・ サプライヤー火災の影響があったものの、「バレーノ」、「ビターラ・ブレッツァ」の好調等により4～9月販売は、前年同期比+12.1%
- ・ 9月は単月過去最高の販売を記録
- ・ 昨年10月発売の「バレーノ」は、1年間で10万台の販売を達成



インドネシアの販売減等により前年同期比▲21.2%

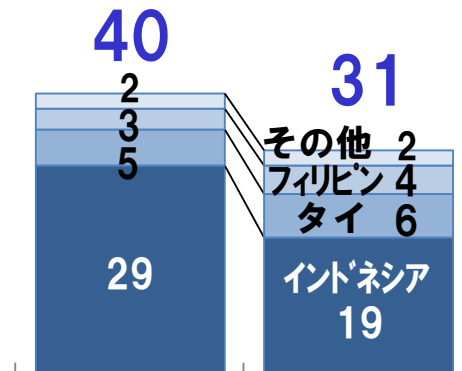
《4～9月比較》
▲17千台（▲21.2%）



前年同期 '15/4-9
当第2四半期 '16/4-9

《内、7～9月比較》
▲9千台（▲23.1%）

（千台）



前年同期 '15/7-9
当第2四半期 '16/7-9

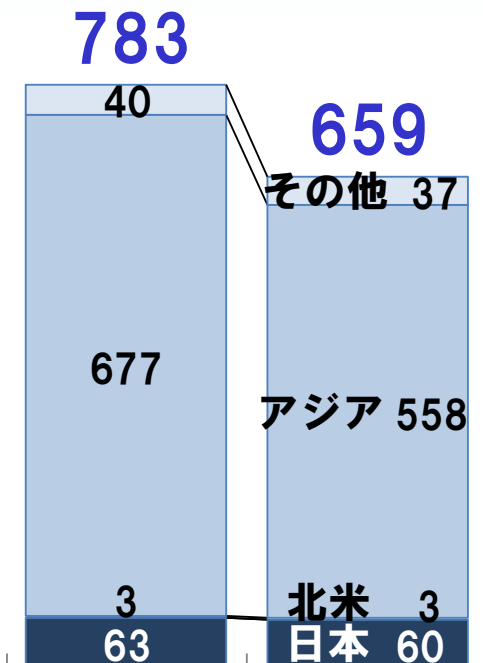
●4～9月アセアン販売

- ・インドネシアの4～9月販売は、商用車の落込みにより、前年同期比▲31.3%
- ・タイの4～9月販売は、本格セダン「シアズ」の拡販により前年同期並み
- ・フィリピンは「セレリオ」、「エルティガ」等が増加し、前年同期比+40.0%と伸長
- ・インドネシア、タイは、国内の拡販とともに、輸出強化により、工場稼働率向上を目指す

生産・販売ともに前年同期を下回る

《4～9月生産》

▲124千台 (▲15.9%)

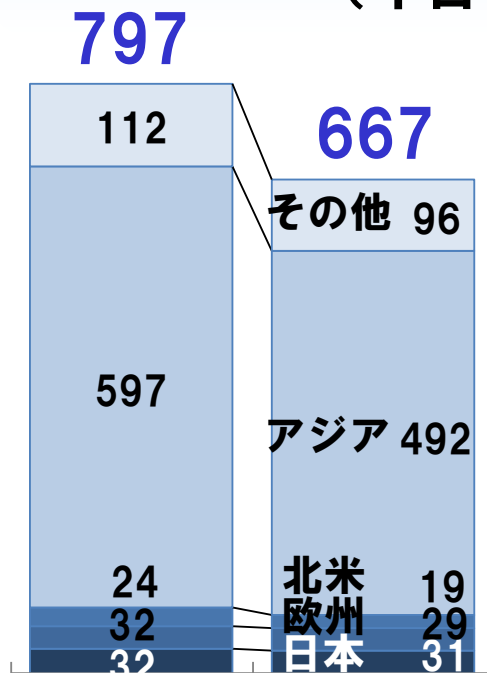


前年同期 '15/4-9 当第2四半期 '16/4-9

《4～9月販売》

▲130千台 (▲16.3%)

(千台)



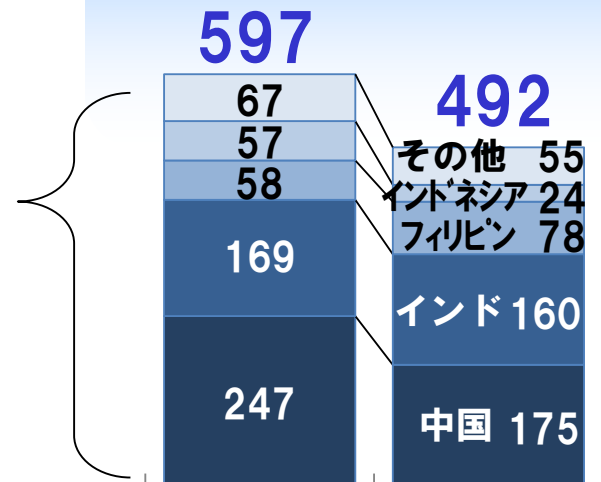
前年同期 '15/4-9 当第2四半期 '16/4-9

●4～9月二輪実績

- 中国、インドネシアなどアジアでの販売減少により、生産で▲124千台、販売で▲130千台

《アジアの内訳》

▲105千台 (▲17.7%)



前年同期 '15/4-9 当第2四半期 '16/4-9

営業活動、ブランド作りだけでなく、レース技術を魅力的な商品の開発にフィードバック

モトGP

- 9月4日、12戦目のイギリスで、ビニャーレス選手が初優勝
- スズキにとっては、2007年のフランス以来、9年振り優勝

GSX-RR



世界耐久選手権

- 2年連続、15回目の年間チャンピオン獲得

GSX-R1000

2017年モデルとして新たに9機種を投入

- 10月、ドイツ・ケルンの「インターモト」にて、2017年新型モデル5機種を発表

V-Strom1000XT



GSX-R1000



V-Strom650



GSX-S750



GSX-R125



- さらに11月のイタリア「ミラノショー」で4機種を追加発表し、計9機種を新規投入
- レース活動の成果も積極的に活用

四輪車は日本、中国、インドネシア等を下方修正

(千台)	通期生産台数				
	予想 (16年度)	前期実績 (15年度)		前回予 想から の修正	
		増減	増減率		

(千台)	通期販売台数				
	予想 (16年度)	前期実績 (15年度)		前回予 想から の修正	
		増減	増減率		

<四輪車>

日本	874	861	+13	+1.5%	▲37
欧州	205	193	+12	+6.3%	+14
アジア	1,980	1,896	+84	+4.5%	▲67
その他	2	2	+0	+0.1%	-
合計	3,061	2,951	+110	+3.7%	▲90

635	630	+5	+0.8%	▲15
232	207	+25	+12.2%	-
1,842	1,842	+0	+0.0%	▲46
164	183	▲19	▲10.2%	▲22
2,873	2,861	+12	+0.4%	▲83

<二輪車>

日本	142	122	+20	+16.1%	+9
欧州	-	-	-	-	-
北米	4	4	▲0	▲9.9%	▲2
アジア	1,141	1,279	▲138	▲10.8%	▲100
その他	65	74	▲9	▲12.0%	▲1
合計	1,352	1,480	▲128	▲8.6%	▲94

63	61	+2	+3.2%	▲2
47	48	▲1	▲1.8%	▲3
36	46	▲10	▲20.9%	▲11
1,019	1,126	▲107	▲9.5%	▲131
191	216	▲25	▲11.4%	+1
1,356	1,496	▲140	▲9.4%	▲146

中間配当は前回予想から2円増配

	当期配当	前期実績比較		前回予想比較	
		前期実績	増減	前回予想	増減
中間配当	17円	15円	+2円	15円 (予想)	+2円
期末配当	17円 (予想)	17円	±0円	17円 (予想)	±0円
年間配当	34円 (予想)	32円	+2円	32円 (予想)	+2円

今回の問題を、全社員が猛反省し、全社を挙げて再発防止に取り組む。

- (1) 技術者教育・研修の強化**
- (2) 走行抵抗申請値決定に係る責任の明確化**
- (3) 走行抵抗申請値に係る社内チェック体制の強化**
- (4) 惰行法測定のための試験設備の整備
及び測定技術の向上**
- (5) 四輪技術本部における閉鎖的な体質の解消**
- (6) 技術に関わる業務監査体制の強化**
- (7) 内部通報制度の利用促進**

2017年3月期 第2四半期決算説明会



スズキ株式会社

将来予想に関する注意事項

※このプレゼンテーション資料に記載した将来予想は、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき当社が判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

※実際には、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。

※実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動(主に米ドル／円相場、ユーロ／円相場、インドルピー／円相場)などが含まれます。